

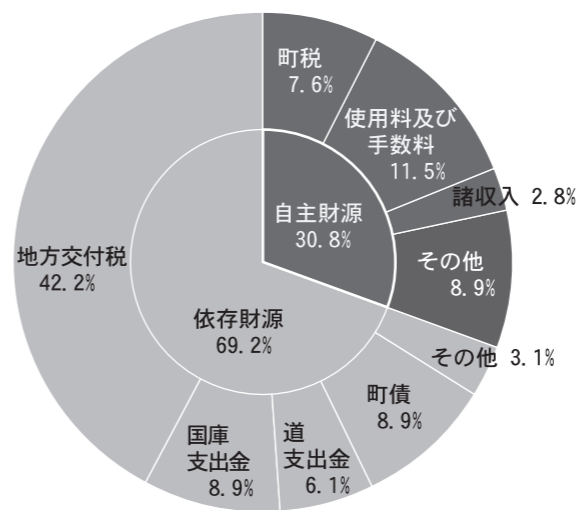
まちの家計簿

平成28年度決算報告から見る

まちが実施しているさまざまな事業は、町民のみならず納める税金や国・道からの支出金などを基に行われています。みなさんの生活のためにどのように活用されたのか、平成28年度決算の概要をお知らせします。

歳入総額

42億1683万円



歳入の状況

区分	平成28年度	平成27年度	比較	説明
町税	320,461	313,996	6,465	町民税や固定資産税、軽自動車税などの町税
地方譲与税	54,680	55,398	-718	自動車重量税などが一定の算式により譲与
利子割交付金	340	530	-190	預金利子にかかる税金が一定の算式により交付
配当割交付金	630	1,070	-440	15年度の税制改正により新設、一定の算式により交付
株式等譲渡所得割交付金	379	895	-516	15年度の税制改正により新設、一定の算式により交付
地方消費税交付金	64,904	76,369	-11,465	消費税の一部が一定の算式により交付
自動車取得税交付金	9,188	8,281	907	自動車取得税が一定の算式により交付
地方特例交付金	1,432	1,477	-45	住宅借入金等特別控除の実施に伴う減収分などが交付
地方交付税	1,778,841	1,776,352	2,489	一定の算式により計算された収支の不足分が交付
交通安全対策特別交付金	788	986	-198	道路交通法による反則金が一定の算式により交付
分担金及び負担金	15,553	15,656	-103	老人ホーム費用や保育料などの徴収金
使用料及び手数料	483,150	495,708	-12,558	町立診療所などの使用料、住民票発行などの手数料
国庫支出金	376,418	334,886	41,532	施設の整備などに対して支出される国からの補助金
道支出金	257,740	244,660	13,080	道が行うべき事務への委託金や道の政策による補助金
財産収入	11,424	14,521	-3,097	町が所有する建物の貸付収入や預金利子など
寄附金	6,820	4,335	2,485	町民や企業などからの善意により町に寄附されたもの
繰入金	228,012	65,423	162,589	町の基金(貯金)を取り崩したなどのもの
繰越金	113,820	147,823	-34,003	前年度会計の歳入から歳出を差し引いたもの
諸収入	117,598	105,302	12,296	コピー代金や町有林間伐材売却収入など
町債	374,655	472,984	-98,329	公共事業を行う際などに国などから借り入れる借金
合計	4,216,833	4,136,652	80,181	

歳入

平成28年度一般会計の歳入総額は、42億1683万円、昨年より8018万円多くなりました。歳入が増加した要因は、国庫支出金(地方創生加速化交付金・低所得高齢者臨時福祉給付金給付事業補助金)などが増加したことによるものです。なお、本町の歳入は約69・2%を国などからの交付金等でまかなっており、うち地方交付税が約42・2%を占めています。

平成28年度決算の概要

平成28年度の一般会計と特別会計を合わせた決算額は、歳入が65億9713万円、歳出が63億5249万円、歳出が63億5249万円の黒字決算になりました。

平成27年度と比べると、歳入が12%増(7億0612万円)、歳出が12・6%増(7億0868万円)で、町税収入も増収となっており、健全な財政運営ができたものといえます。

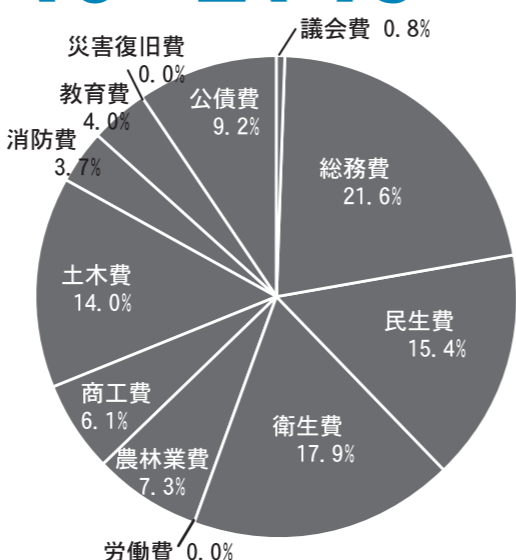
一般会計の決算

みなさんから納めていただいた町民税や固定資産税、国や道からの交付金などは、私たちの生活をよりよくするために、さまざまな形で使われています。

決算は、町にどのくらいの収入(歳入)があり、そしてどのように使われたのか(歳出)をわかりやすくまとめたものです。みなさんの生活に最も関わりの深い一般会計を中心に、図や表を使いながらその概要を説明します。

歳出総額

40億2149万円



目的別歳出の状況

区分	平成28年度	平成27年度	比較	説明
議会費	33,831	40,403	-6,572	議員報酬や「議会だより」など議会運営に関する経費
総務費	867,088	911,385	-44,297	職員給与や役場庁舎管理、住民票、広報紙などの経費
民生費	620,613	576,959	43,654	老人福祉や児童福祉、国民年金など福祉に関する経費
衛生費	719,994	733,729	-13,735	総合健康診査やごみ、し尿処理などに関する経費
労働費	27	46	-19	労働相談事業などの労働対策に関する経費
農林業費	294,025	271,423	22,602	農林業の振興や遊湯びつぷなどに関する経費
商工費	243,519	142,573	100,946	七夕天国や商工業の振興対策に関する経費
土木費	564,055	541,663	22,392	町道や公営住宅、除排雪などに関する経費
消費費	147,061	149,310	-2,249	消防活動に必要な経費を大雪消防組合に支出
教育費	160,176	215,022	-54,846	小中学校や体育館、図書館などに関する経費
災害復旧費	0	3,832	-3,832	台風などによる被害復旧に関する経費
公債費	371,107	341,487	29,620	公共施設を建設する際に借入れた借金の返済金
合計	4,021,496	3,927,832	93,664	

特別会計の決算

区分	歳入	歳出	差引
国民健康保険	660,535	646,252	14,283
後期高齢者医療	60,609	60,541	68
介護保険	591,247	578,289	12,958
観光事業	731,120	716,653	14,467
簡易水道事業	229,302	225,191	4,111
公共下水道事業	107,483	104,068	3,415

歳出

歳出総額は40億2149万円、昨年より9366万円増加しました。目的別の内訳を見ると、総務費が約22%と最も多く、次いで衛生費約18%、民生費約15%となっています。

歳出で大きく増加したのは、民生費、農林業費、商工費、土木費、公債費です。低所得高齢者臨時福祉給付事業交付金や後期高齢者医療広域連合負担金、担い手確保・経営強化支援事業補助金、農業農村整備事業負担金などの

ほか、観光振興事業繰入金、八坂公園維持管理事業工事によるものです。また、みどり町団地の建設と西町駅前団地の外構整備工事、くるみ団地の解体、道路維持の工事などでも増加しています。

性質別では、物件費が約27%と最も多く、次いで補助費等約19%、人件費約15%となっています。

性質別歳出の状況

区分	平成28年度		平成27年度		比較	
	決算額	構成比	決算額	構成比	増減	増減率
消費的経費						
人件費	588,050	14.6	598,810	15.2	-10,760	-1.8
物件費	1,072,249	26.7	1,143,360	29.1	-71,111	-6.2
補助費等	777,407	19.3	619,814	15.8	157,593	25.4
その他	233,533	5.8	231,631	5.9	1,902	0.8
計	2,671,239	66.4	2,593,615	66.0	77,624	3.0
投資的経費						
普通建設事業費	380,797	9.5	402,813	10.3	-22,016	-5.5
その他	0	0	3,832	0.1	-3,832	-100.0
計	380,797	9.5	406,645	10.4	-25,848	-6.4
その他						
公債費	372,418	9.3	346,007	8.8	26,411	7.6
繰入金	496,864	12.4	371,232	9.5	125,632	33.8
その他	100,179	2.4	210,332	5.3	-110,153	-52.4
計	969,461	24.1	927,571	23.6	41,890	4.5
合計	4,021,497	100.0	3,927,831	100.0	93,666	2.4

【用語解説】

- ◆一般会計
町の基本的活動を遂行するために必要な経費やその収入を経理する会計です。
- ◆特別会計
特定の事業や特定の収入に基づいた事業を行う場合、その事業に係る経理を他の会計と区別する必要があるときに条例や法律に基づいて設置する会計です。
- ◆自主財源
町が自主的に収入することができる財源。町税、使用料・手数料などが自主財源にあたります。
- ◆依存財源
国や北海道から交付される財源。地方交付税、国庫支出金、町債(借金)などが依存財源にあたります。

